

『スタートライン』

2018. 6. 5 第6号

新緑から深緑へ。6月に入った途端、真夏のような天候が続いて、『ちょっと体がだるいなあ…』と思いながらの週末でした。これは、まだ体が夏への準備ができていないためなのか。それとも、年齢的なものなのか…。『汗、かきたくね〜』とも思うし、やっぱり後者だからかな。

歯と口の健康週間が始まりました

たくさんの生き物がいる中で、虫歯になるのは人だけらしい。人が火を使い、食べ物を柔らかく食べやすく調理し始めたときから、人は、おいしさと引き換えに、虫歯のリスクを背負ったとか。たしかに、馬や牛、猿やタヌキ…。いろんな生き物が物を食べて生きているのに、虫歯で痛がっている動物を見たことが無い。どうも、“よく噛む”ことが大切らしいです。草食動物にしる肉食動物にしる、固い草や葉っぱや生肉を食べるために、何度も何度も噛んで唾液を出す。そんなところに虫歯にならないわけがあるようです。それと、甘い砂糖。

でも、私たちはそうはいきません。私たちは柔らかいものが大好きだし、甘いものも大好き。テレビ番組で、グルメレポーターが、「やわらか〜い！うま〜い！！」と声を張り上げれば、『私も食べたいなあ』と思います。運よくそんなおいしいものを口にできれば、『う〜ん、しあわせ！』と思います。

だからこそ、歯磨きです。これからも、おいしいものをたくさん食べて、『しあわせ〜！』と思えるように、しっかり歯を磨いて下さいね。



個別の授業で取り組んだ虫歯予防のポスター（工作）です。ふたりが大きく開けた口の中で、真っ白な歯が輝いています。